

消防局予算の概要

1 予算編成に当たっての考え方

災害の激甚化・頻発化、救急需要の増大をはじめ、消防を取り巻く環境が変化する中、消防は、市民のいのちと暮らしを守るため、迅速・的確な消防救急体制の確保や効果的な火災予防対策の推進、市民等との連携による地域防災力の強化など、あらゆる消防需要に適切に対応し続ける必要がある。

そのため、令和7年度予算は、国・府、地域、企業等の多様な主体との連携の下、以下に掲げる施策を重点的に推進し、「安心安全で災害に強いレジリエントなまち」の実現を目指す予算とした。

まず、迅速・的確な消防救急体制の確保に向けては、消防活動拠点施設の整備や救急隊増隊をはじめとする救急需要対策、京都府南部消防指令センター整備など、消防力の充実強化に取り組む。

また、社会環境や火災態様の変化に適応した効果的な火災予防対策を推進し、火災の未然防止や被害の低減を図る。

加えて、消防団員のやりがい向上・負担軽減につながる活動基盤の改善に向けた取組を進めるほか、自主防災組織等に対する訓練指導や活動支援を通じて、防災をきっかけに生まれる「つながり・支え合い」による地域コミュニティの活性化を促すなど、市民等との連携による地域防災力の強化を推進する。

そして、これらの施策を展開する中で、人材の確保・育成や適切な勤務環境の確保など、職員がいきいきと働く環境を整備することにより、持続可能な消防体制を支える職員・組織づくりを進めていく。

2 主な新規・充実事業

(1) 桂消防出張所移転整備【令和11年度まで】	149,000千円
(2) 増加する救急需要への対応	77,000千円
(3) DanX～消防団員の負担軽減と働き方改革に向けた検討～【令和7年度まで】	5,000千円

3 消防局主要施策の概要

項 目	主 要 施 策 の 概 要	本年度予算額	前年度予算額
< 消防局所管 >	一般会計合計	千円 27,285,000	千円 21,920,000
1 消防体制		8,519,000	3,648,484
消防・救急対策	消防活動拠点施設の整備 桂消防出張所移転整備 <新規>	149,000	-
	消防・救急活動維持管理整備 消防・救急活動機材等整備 消防ヘリコプター運航管理 消防自動車維持管理	1,378,775	724,000
	消防車両整備 消防自動車、救急自動車	660,000	534,000
	京都府南部消防指令センター整備	5,190,000	1,338,000
	消防通信維持管理・整備 指令システム維持管理 など	532,300	489,700
	消防水利維持管理整備	26,900	16,200
	水道事業特別会計繰出金	327,821	346,986
	増加する救急需要への対応 <充実> 救急隊の増隊 救急隊の適正配置に向けた西大路消防出張所建替整備	77,000	27,000
	救急高度化事業 メディカルコントロール体制の推進 など	97,200	97,200
	救急安心センター事業	32,804	23,998
	応急手当の普及啓発	8,600	12,800
予 防 対 策	予防消防推進	38,600	38,600

項 目	主 要 施 策 の 概 要	本年度予算額	前年度予算額
2 消防団体制		千円 869,000	千円 753,000
消 防 団 施 策	消防団活動 高視認性活動服の導入 消防団員報酬、退職報償金、災害補償費 消防団充実強化実行チームの活動支援 京都市ジュニア消防団の活動支援 DanX～消防団員の負担軽減と働き方改革に向けた検討～ <新 規> など	639,000	619,000
	消防団運営 京都市消防団協会交付金	44,000	44,000
	消防団施設補助	120,000	37,000
	消防団車両整備	18,000	9,000
	消防団活動機材等整備	48,000	44,000
3 地域防災力の向上		226,000	154,060
地 域 防 災 推 進	自主防災組織の災害対応力の充実 自主防災組織活動助成金 北部等山間地域自主防災組織消火活動器材整備助成金 幼少年期からの防災教育 地震体験車の更新 など	93,440	21,500
	市民防災センター管理運営	132,560	132,560
4 消防管理運営		17,671,000	17,364,456
人 事 管 理	職員給与	16,634,000	16,497,000
	職員の安全衛生管理、給貸与品など	166,000	164,500
庁 舎 管 理	庁舎管理 庁舎維持補修 など	871,000	702,956

